

新SAPチャレンジ改革一覧表(改革マトリックス2×3)

| No. | 重点改革 (目玉) | 所管課 (関係課) | 改革の名称 | 改革の方向性 | 期待される成果 | 特記事項 |
|-----|-------------------|------------------------------|----------------|--|---|----------------------------|
| 1 | 刷新 × サービス向上 | 企画広報課 | シェアリングエコノミー | 空きスペースのシェアや子育て支援のシェアなど、シェアリングエコノミーの手法を活用して、行政サービスの向上と社会課題の解決を図る取組を推進します。 | 車、土地、宿泊場所などの使っていない道具をレンタルしたり、車の相乗り、オフィスの余っているスペース等の共有、また自身のスキルや時間を提供するなど、これまで注目されていなかった遊休資産を有効的に活用することで、社会・地域課題の解決に繋がり、市民や企業の共助が図られます。 | |
| 2 | 刷新 × 財源確保 | 都市計画課 | まちづくり会社の設立 | 第3セクター方式などによる事業体として地域に密着したまちづくり会社を設立し、行政では手が届かない分野や地域づくり活動など、市民主導型のまちづくり体制の構築を目指します。 | 民間のノウハウを最大限に活用し、行政だけでは解決できないさまざまな問題、課題に取り組むことで、市民・企業・行政の協働によるまちづくりの活性化に繋がります。 | |
| 3 | 刷新 × 効率化 | 秘書課 | 働き方改革 | 自宅や職場以外の場で業務を行うテレワークや会議のペーパーレス化などのオフィス改革、仕事量に応じて臨機応変に人員を再配置する枠配分型人事異動など、行政の新たな働き方を構築します。 | 行政(市役所)が市内企業の働き方改革の旗振り役として、働く人の視点に立ち、行政(企業)文化、ライフスタイル、職場環境などの働き方を抜本的に見直すことで、業務の効率化・最適化や、社会全体のワークライフバランスの実現が期待できます。 | |
| 4 | 連携 × サービス向上 | 福祉政策課 (こども家庭課) (高齢福祉課) | 福祉人材の育成 | 福祉の現場で不足している保育や介護、障がい者等に関わる人材を確保するため、福祉人材バンクや福祉ハローワークなど福祉人材の育成について取り組みます。 | 福祉に特化した人材バンクの整備や福祉ハローワークなどの機能充実を図ることで、地域における福祉分野の人材を広く確保し、他市よりも質の高い福祉サービスを提供することができます。 | |
| 5 | 連携 × 財源確保 | 水道課 (下水道課) | 上下水道の広域化 | 関市の強みである水道事業を最大限に活かすため、将来的に水道事業の広域運営を視野に入れた新たな枠組みを目指します。 | 将来の人口減少を予測した下水道事業の広域統合により、施設維持の更新コストが縮減できます。また、水道行政の効率が悪い周辺隣接自治体(富加町、坂祝町、美濃加茂市、岐阜市、山県市等)に関市の水道管を接続し、市の水道水を給水(販売)することで新たな事業収入を得ることができます。 | 県水の管轄エリアに参入し勝負する必要あり(水道課長) |
| 6 | 連携 × 効率化 | 企画広報課 (危機管理課) | 広域行政事務のあり方の見直し | 現在の広域行政事務について、組織の枠組みや事業内容・経費負担など、組織運営のあり方について抜本的に見直します。 | 広域で扱う業務の拡大・縮小の検討やこれまでの制度等の抜本的な見直しを行うことで、財源の集中化や業務の効率化が図ることができ、将来を見据えた持続可能な広域行政運営が期待できます。 | |